

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 2 月 2 7 日

高島市議会議長 河越 安実治 様

高島市議会議員 9 番 是永 宙

次の事項について質問いたしたいので通告します。

※質問項目（番号）が2以上ある場合は、次のどちらかに○をつけてください。

- ・ 質問番号1の用紙にだけご記入ください。
- ・ 質問が一つだけの場合は必然的に1となりますので、記入は不要です。

初問は { 1. 全項目一括質問一括答弁
②. 項目ごとに一括質問一括答弁

(質問番号 2) 発 言 事 項	「みどりの食料システム戦略」の取り組みについて
要 旨 (項目だけでなく、質問の趣旨が理解できるように記入してください。)	
近年、食料の安定供給・農林水産業の持続的発展と地球環境の両立が強く指摘されています。気候変動による大規模災害の頻発や、生物多様性の急速かつ大規模な損失が深刻化しています。自然や生態系の持つ力を巧みに引き出して行われる食料生産・農林水産業において、環境負荷の軽減を図り、豊かな環境を維持することは、持続的な生産活動に不可欠であり、次世代に向けて取り組まなければならない重要な課題です。 このような状況から、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立を実現させるため、戦略的に取り組む政策方針として「みどりの食料システム戦略」が策定され、政府として強力に推進しています。この戦略を推し進めるため、地域ぐるみで有機農業の生産から消費まで一貫して取り組む「オーガニックビレッジ」が全国各地で誕生しており、2024年6月現在124自治体が「オーガニックビレッジ宣言」をしています。 高島市においては2006年に市内の篤農家がグループをつくり、「たかしまいきものたんぼ米」という取り組みを開始され、環境に配慮した農業を研究、実践し、水田の生物	

多様性を活かしたブランドを立ち上げ販売まで手掛けておられました。当時、この取り組みは滋賀県内でも先進的な取り組みで、市外からもたくさんの農家の方が「いきものたんぼ米」の技術講習会に参加されていました。

このように「みどりの食料システム戦略」は、高島でのこれまでの取り組みと親和性が高いと考えられることから積極的に取り組んでいくべきと考えます。

以下、「みどりの食料システム戦略」の取り組みについて問います。

問1 みどりの食料システム戦略についてどのように評価しているか、見解を問う。

問2 高島市もオーガニックビレッジ宣言をしてはどうかと考えるが、高島が宣言した場合の効果についての見解を問う。

問3 減農薬栽培も含めた地産地消の有機農産物によるオーガニック給食に取り組む自治体も増えているが、オーガニック給食による効果（教育的効果も含めて）についての見解を問う。